

シャンソン関連資料紹介

相良氏は、シャンソンの楽譜の印刷技法についての研究もされてきました。コレクションの中から相良氏が「スター誕生と絵入り印刷物」*で解説した原稿（請求記号：XDM0.49/Sa18/1）を元に、特徴的な印刷技法の楽譜を紹介します（<>の部分が相良氏原稿からの引用です）。

*2004年7月29日仙台市博物館ホールで行われた「絵入り本ワークショップ」での講演

Le chansonnier français



Le chansonnier français, ou, Recueil de chansons, ariettes, vaudevilles & autres couplets choisis, avec les airs notés à la fin de chaque recueil. 13. recueil
[Paris]: [s.n.], [1761?]
1 v. (various pagings): music; 17 cm
With: 14. recueil

請求記号:
XDM3.94/C3639

<1761年刊行のシャンソン集。手書き・銅版印刷楽譜の例。>

Malmouché en Icarie



Malmouché en Icarie : impressions de voyage / paroles de A. Henrio ; musique de M. Juillio

Paris : Lenglard, [18-]
1 voice score ([2] p.) ; 35 cm

請求記号: XDM6.1/J938

<大型楽譜の例。歌詞・楽譜・挿絵。挿絵は石版画、楽譜は銅版画。>

相良匡俊氏について

1941年5月 鳥取県鳥取市にて出生。

1961年4月 東京大学教養学部入学。

1963年4月 東京大学文学部に進学し、1965年に卒業。東京大学大学院人文科学研究科西洋史学専修課程を経て、博士課程に進学。

1971年よりパリ第1大学（パンテオン＝ソルボンヌ校）第3博士課程へ留学。

1975年3月 東京大学大学院人文科学研究科満期退学。

1975年4月より法政大学第一教養部兼任講師に着任。1976年4月法政大学第二教養部助教授、1983年11月法政大学社会学部助教授を経て、1986年4月より法政大学社会学部教授。

2012年3月 退職。

専門分野は19世紀・20世紀のフランスの歴史。

主な著書に『世界の歴史と文化・フランス』（共著、新潮社、1983年）、M. シュヴァリエ『労働階級と危険な階級』（共訳、みすず書房、1993年）、『歴史として、記憶として』（共著、御茶の水書房、2013年）。『社会運動の人びと一転換期パリに生きる』が没後2014年に山川出版社から刊行された。

コレクションのパンフレットを図書館1階受付で配布しております（お一人様1部まで）。

コレクションのサイトもご覧ください。

<http://tokyo-ondai-lib.jp/collection/sagara>



Le mirliton



Le mirliton / directeur, Aristide Bruant
9e année, no 99
Paris : [Le Cabaret du Mirliton], 1893
8 p. : ill. ; 28 cm

請求記号:
XD772.35/B83/99

<シャノワールの出身で、独自のキャバレーをもったアリストイド・ブリュアンのお店、ル・ミルリトンの機関紙。1893年3月3日号。ブリュアンは出版活動に意欲的で、この新聞の他、自分の歌集、パリの下町風俗を特集する雑誌などを刊行した。>

L'éclipse



L'éclipse : journal hebdomadaire, no 88 (Aou. 1869) / directeur, F. Polo
[Paris]: [s.n.], 1869
4 p. : ill. ; 48 x 33 cm

請求記号:
XDM0.8DROM /Sa18-1
(資料劣化のため代替資料での提供)

<個人を題材にして風刺画を表紙に描いた1860年代の代表的な新聞『エクリプス』。1869年8月22日号。テレザを描く。>